

令和7年10月31日

守谷市議会議長 殿

委員長：田中 啓一 印

報告者：高橋 典久 印

総務教育常任委員会視察・研修報告

標記の件について、次のとおり参加したので報告します。

視察・研修日	令和7年10月28日(火)9:30~11:00
視察・研修場所	かほく市役所会議室
視察・研修項目	シティプロモーションを通じた移住・定住施策の推進
参加者	守谷市側 田中啓一委員長、山本広行副委員長、高橋典久委員、長谷川信市委員、青木公達委員、海老原博幸委員 市長公室長:浜田耕志、議会事務局:恩田耕介
	相手側 副議長:野田稔彦 議会事務局:西盛豊樹局長 地域創生課:荒井三盛課長、吉田奈央係長
視察・研修目的	シティプロモーションを通じた移住・定住施策の推進
視察・研修内容	<p>ライフステージに応じたトータル支援による施策の展開</p> <p>【若者の定住・移住に向けた施策】</p> <p>○かほく市若者マイホーム取得奨励金(H22~) 一戸建て住宅を購入→最大215万円交付</p> <p>○かほく市新婚さん住まい応援事業補助金(H23~) 40歳未満が賃貸住宅に入居→月額1万円を最大2年間</p> <p>○かほく市UIJターン住まい補助金(H31~) 45歳未満の若者世帯が県外から賃貸住宅に入居→月額2万円を最大2年間</p> <p>○かほく市奨学金返還支援補助金(R4~) 30歳未満で市内事業所に正規雇用→20万円を上限、最大5年間補助</p> <p>【子育て支援施策】</p> <p>○赤ちゃんすぐすぐ応援事業 新生児1人につき「かほく市共通商品券」贈呈</p> <p>○不妊・不育治療費助成の拡充 自己負担分について市が助成</p> <p>○18歳までの子ども医療費助成 入院通院の自己負担分について全額助成</p>

	<p>○高校通学定期券購入支援事業 定期券購入費用の半額を助成→高校3年間の36か月</p> <p>【定住促進施策の効果】</p> <p>○H22のかほく市人口 35,023 人→R6のかほく市の人口 36,231 人 (1,208 人増)</p> <p>○R6かほく市計画人口 33,944 人(H22)→±2,287 人増</p> <p>全ての学年で出生した年よりも増加していることから、子どもを連れてかほく市へ移住していることがわかる。</p> <p>【近年のシティプロモーションの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15秒テレビスポット CM の制作、放送 ・映画上映幕間を活用したプロモーション活動 ・かほく市公式 SNS の活用 ・かほく市ふるさと大使による PR(ヤクルトスワローズ奥川選手など)
--	---

1

視察・研修総括 (今後の取組み等)	<p>○定住促進事業については県内外の核自治体で鋭意取り組んでおり、特色のあるものをしていく必要がある。</p> <p>○アウターブランディングとインナーブランディングをバランスよく展開していくことで、「転入促進」と「転出抑制」を実現していく必要がある。</p> <p>○費用対効果としての事業評価が見えにくい。</p>
----------------------	--

2